

分科会

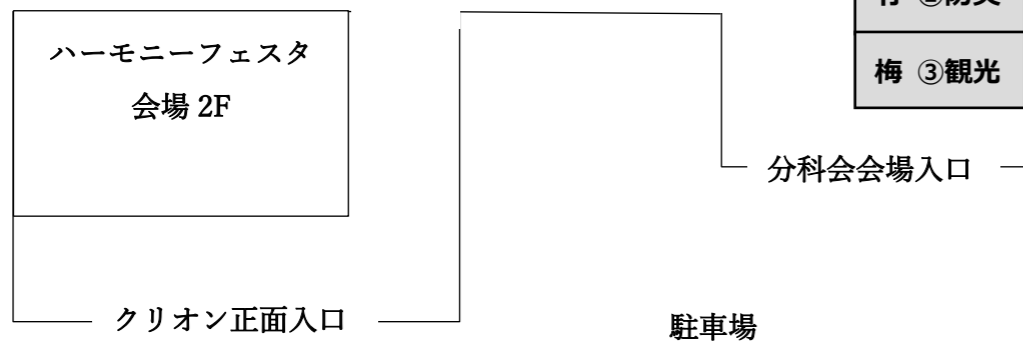
分科会 ① 教育「どうする?ジェンダー教育」
ファシリテーター:黒田 純代さん(あきたF・F推進員)

分科会 ② 防災「私って災害弱者?」
ファシリテーター:西宮 三春さん(あきたF・F推進員)
情報提供者:田口 俊彦さん(仙北市危機管理監)

分科会 ③ 観光「多様性と観光を考える」
ファシリテーター:富岡 美津子さん(あきたF・F推進員)
情報提供者:佐藤 奈央維さん(グローバルプロモーション株式会社
セールスコーディネーター)

分科会会場案内

※クリオン正面入り口をでて分科会会場へ
ご移動をお願いします



ご参加いただき、ありがとうございました。
アンケートにご協力をお願いします。
右のQRコードまたは下のURLからご回答いただけます。
<https://forms.gle/WrDSkjrJaZCYmYEw9>



ハーモニーフェスタ 2024

～地域ではぐくむ多様性社会～

令和6年6月29日(土) 西木温泉ふれあいプラザ クリオン

総合司会:伊藤 弘子さん(あきたF・F推進員)

- 12:35 レセプション(秋田ストリートダンスプランナー)
- 13:00 主催者あいさつ 丹治 純子(秋田県理事)
- 13:05 秋田県男女共同参画社会づくり表彰式
- 13:30 基調講演「ジェンダー平等と多様性社会」
講師 山屋 理恵さん(岩手県男女共同参画センター センター長)
- 14:15 パネルディスカッション「だれもがイキイキ共生社会」
コーディネーター:坂本 佐穂さん(あきたF・F推進員)
パネリスト:清水 大さん(美容部員・ダンス講師)
石川 晴久さん(社会福祉法人あきたふくしハート愛仙管理者)
- 15:20 分科会 ① 教育「どうする?ジェンダー教育」
② 防災「私って災害弱者?」
③ 観光「多様性と観光を考える」
- 16:20 閉会行事
- 16:30 閉会

レセプション: 秋田ストリートダンスプランナー

アットホームな雰囲気ダンススタジオで、オリンピックの追加種目となったブレイキンなど5ジャンルのレッスンをしている。インストラクターやアシスタントの人数も多く、子どもから大人まで一人ひとりに合わせた丁寧なレッスンが特徴。生徒会員の全国大会実績も多く、秋田県で全国に通用するダンスレベルが習得でき、週末には日本トップレベルのプロダンサーによるワークショップを開催している。今回パネリストとして登壇する清水大さんが角館スクールの講師を務めている。

- 【主催】秋田県・秋田県人権啓発活動ネットワーク協議会
- 【実施団体】特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター
(秋田県南部男女共同参画センター指定管理者)
- 【後援】仙北市 【協力】あきたF・F推進員・仙北市実行委員のみなさん



令和6年度 秋田県男女共同参画社会づくり表彰

【ハーモニー賞】^{まさき} 真木 ^{まさたか} 柁鷹さん（住所：由利本荘市）

◆活動概要及び受賞理由

平成10年に、性的マイノリティの交流の場として自助団体「ES-T 東北（現：性と人権ネットワーク ESTO）」を立ち上げ、すべての人の存在が尊重されることを願い、多様な性を生きる人々の人権を啓発するために活動されています。

多様な性への理解を深めるため、交流会や講演会を開催し、学生から高齢者まで幅広い世代の人に「性は人権」の意識を広めてきたほか、定期的なニュースレターやメールマガジンの発行により、他の活動団体とのネットワークを構築するなど、啓発活動や当事者の支援に精力的に取り組まれています。

また、平成16年から「あきたF・F推進員（※）」として地域の男女共同参画事業に尽力されるとともに、県教育庁が主催する研修会で講師を務めるなど、地域におけるジェンダー平等社会の実現に向け大きく貢献されています。

こうした性別に関わらずすべての人の人権の尊重を促進する活動は、男女共同参画社会の実現に向け、今後の社会づくりにも好影響を与えるものとして、その功績は大きいと評価されました。

【チャレンジ賞】^{いとう} 伊藤 ^{れい} 励さん（住所：大館市）

◆活動概要及び受賞理由

性別や年齢に関わらず、誰もが気軽に交流できる場の提供を通じて地域の活性化を図り、若い世代が希望を持って暮らせる地域の実現に向けて、次世代のリーダーとして積極的に活動されています。

就職を機に上京後、令和2年に帰郷し、働き世代や子育て世代などが気軽に集い情報交換ができる交流会を開催することで、つながりが生まれにくい若年層の交流拡大に寄与されました。現在では、幅広い世代の参加者を受け入れる交流会として、地域の人と人をつなぐ役割を果たしています。

また、交流会を通して得られた多様な意見を活動に活かし、男女の出会いの場を創出するなど新たな活動にも挑戦しているほか、町内会長にも就任しており、若い世代が住みたいと思える地域を目指し、今後も取組を進めていくことが期待されています。

従来、若年男性の参画が少なかった地域におけるこうした取組は、性別や年齢にとらわれずにチャレンジすることができる男女共同参画社会の実現に大きな影響を与えるものであり、その功績は大きいと評価されました。

（※）「あきたF・F推進員」：地域での男女共同参画の推進的役割を担う人材

出演者紹介

基調講演講師：^{やまや} 山屋 ^{りえ} 理恵さん（岩手県男女共同参画センター センター長）

認定特定非営利活動法人インクルいわて理事長。2011年団体設立。復興庁・厚生労働省「よりそいホットライン」の東北統括として被災者支援に携わる。2014年から岩手県男女共同参画センターを受託運営し、行政として全国で初めてLGBTQ相談に取り組む。内閣府等の委員や全国女性会館協議会理事、岩手県復興委員会女性参画推進専門委員、いわて被災者支援センター長、東北大学大学院非常勤講師等を歴任。

インクルいわて HP QRコード



パネルディスカッションコーディネーター：^{さかもと} 坂本 ^{さほ} 佐穂さん（あきたF・F推進員）

平成13年度認定のあきたF・F推進員第1期生。ワーク・ライフ・バランス応援フリーマガジン「Sふれっそ」編集長として、地域で輝く人や男女共同参画に関する情報を発信している。仙北市内2か所で運営する英会話教室は今年開講30周年を迎える。仙北市教育委員。

パネリスト：^{しみず} 清水 ^{だい} 大さん（美容部員・ダンス講師）

仙北市で美容部員としてツルハドラッグ角館店に2019年に入社、接客力を競うトータルビューティコンテスト世界大会で2022年、2023年2年連続入賞。美容というカテゴリーを主に男性美容部員としてジェンダー平等社会の推進に貢献するべく日々活動中。またダンスインストラクターとしても活動しており、小学生から大人まで幅広く指導、自身もコンテストや大会に参加し、受賞経験多数。ジェンダーという枠に縛られず、自分らしさを軸に様々な事に挑戦している。2023年度仙北市男女共同参画チャレンジ賞を受賞。

パネリスト：^{いしかわ} 石川 ^{はるひさ} 晴久さん（社会福祉法人あきたふくしハート愛仙 管理者）

平成17年4月から障がい者福祉サービス事業所で勤務。数年前から地元仙北市の事業所で働きたいと思い、現在は仙北市西木町の「愛仙」にて、障がいのある方々へ就労・生活支援を行っており、「障がいのある方々が活躍できる社会」を目標に、社会参加の促進や所得向上、自立に向けて等、日々奮闘している。